

委員会活動報告書

委員長名 播本 雅津子

【委員会名】 国家試験委員会	
【メンバー】 ◎播本雅津子(名寄市立大学保健福祉学部)、○大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)、宇田優子(新潟医療福祉大学看護学部)、¥大谷喜美江(四日市看護医療大学看護医療学部)、齋藤公彦(福山平成大学看護学部)、関美雪(埼玉県立大学保健医療福祉学部) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 毎年の保健師国家試験出題内容に関する意見をとりまとめ、厚生労働省に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準の点検・評価を行う。 3. 国家試験問題作成のための研修会などにより、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップする力を育成する。	
2022(令和4)年度	
達成目標	1. Web調査による第109回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。 2. 養成校別保健師国家試験合格率の推移、問題内容調査結果の分析経過など、国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。 3. 厚生労働省Web問題登録への会員校からの問題/情報の登録を推進する。 4. ブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応する等、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。
活動報告	1. 第109回保健師国家試験の出題内容に関する会員校調査を実施した。88校(37.9%)の会員校から122件の意見が参集した。参加校は第107回103校(47%)、第108回114校(49.8%)から減少した。分析結果は厚生労働省医政局看護課に意見書として提出した(2月)。会員校には意見書および会員校から寄せられた意見を集約した文書を全保教HPに掲載して周知を図った。第109回保健師国家試験環境調査を実施した。964名の受験生から回答を得た。調査のまとめを内容調査と同時に厚生労働省に提出し、会員校には全保教HPに掲載して周知を図った。 2. 夏季教員研修会第3分科会を担当し「国家試験問題作問チャレンジ入門編」として国家試験問題に関する研修会をオンデマンド配信で実施した。106人の申し込みがあった。北海道、東北ブロックの北海道地区で国家試験に関する研修を2月と6月に実施した。 3. 厚生労働省への国家試験問題のWEB投稿に取り組み、委員会から約15件の問題の投稿を行った。この取り組みの委員会には国家試験委員以外の参加も募り、実践的な研修を兼ねて投稿問題のブラッシュアップに取り組み投稿につなげた。